

別紙 1 事業実施に係る動機

1. 開設の目的（目指す姿）

- 社会福祉法人が主体となった、通常のフィットネスジムには無い福山市内の一地域での健康増進・地域連携・貢献にかかるエリアマネジメントの実現
- 社会福祉法人によるフィットネスジムの運営を通して、地域の方を巻き込みながら一地域での健康づくりやその風土作り、コミュニティ内の関係性の深化、建物や人材の活用による地域貢献、リハビリ活動での医療・介護・福祉の連携場所となる。目指すは「我が町のフィットネスジム」です。

2. 開設の理由並びに開設により期待される効果等

- ① 沼隈町・近隣地域にフィットネスジムは無い。
- ② 全国的に健康維持や増進の機運は高く、沼隈町内でも福山市内のフィットネスジムに行かれている方は多く、町内でのフィットネスジム開設に期待する声は多い。
- ③ 沼隈町・内海町は高齢化率が約 40%で、健康寿命の増進や介護予防面での効果を発揮する場所の必要性は高い。
- ④ このような中で、沼隈町内で実施されているヨガ教室等の活動場所が 2019 年度より使用終了の予定となっており、活動場所の確保に懸念されている。
- ⑤ 「ゼノ」少年牧場の各施設・事業所の利用者においても高齢化が顕著で、法人内の理学療法士やフィットネスジムで整備するリハビリ機器を活用して、例えば生活介護事業の一環で身体機能の維持や介護予防のプログラムを意図的に実施する必要性が高くなっている。
- ⑥ 利用者の高齢化や重度化、気候変動による戸外活動の困難さ等（例：夏場の酷暑）に影響されずに、無理なく働ける場所を作る必要がある。
- ⑦ ジム会員数の確保に努めることで、会員数に応じた安定した収入が期待でき、B 型利用者工賃の向上が図れる。
- ⑧ 介護保険施設等の地域貢献活動では、自施設の理学療法士等の介護予防教室等への派遣といったものがあり、近隣の介護保険施設からもフィットネスジムへの派遣を検討したいとお声をいただいている。
- ⑨ ⑧に関連して、地域の医療機関や介護保険施設の利用者の方のリハビリ活動の場所としても機能すれば、医療・介護・福祉の一つの連携場所となり得る。
- ⑩ ジムでの活動を通して、当法人・他法人の理学療法士間の介護予防に関する情報・実践場面の共有による互いのスキルの向上、それがまた利用者に還元される好循環が期待できる。
- ⑪ フィットネスジムというたった一つの場所ではないが、そこで地域住民や障がいのある方が普通に交わる、運動等を一緒に行うことで相互理解の一助となる。
- ⑫ フィットネス用建物には館内バックヤード（2 部屋）があるが、地域住民で小物作り等の教室を行いたい活動場所が無く、諦めておられる方が地域には複数いらっしゃる。部屋の無償開放で当法人の地域貢献活動の一環となる。

↓

以上を通して、「開設の目的（目指す姿）」に記した形に近づき、社会福祉法人による地域ニーズの応需や、収益面のみに留まらず、上記⑩に繋がる一地域での共生社会の実現に寄与していきたい。